

事後評価シート

調査研究課題名	訪日旅行のブランド・イメージに関する調査研究
担当者	主任研究官 坂井志保、研究官 武田紘輔 元研究調整官 松永康司、前研究官 中尾昭仁
① 当初目標と目標達成度	<p>本調査研究では、海外市場で形成されている「旅行先としての日本」に対するイメージに着目し、これを分かりやすく整理、分析する手法（イメージ・マップ手法）を確立することを試みた。また、今後インバウンドに取組みを始めた다고考えている自治体等を中心とした地域の戦略立案に資する情報提供や活用方法について取りまとめたものである。</p> <p>調査研究の成果として、海外市場における「旅行先としての日本」に対するイメージの調査及びイメージ・マップの整理、自治体等を中心とした地域での活用策検討を行い、取りまとめを行ったことで、当初の目標を達成できたものとする。</p>
② 調査研究内容の妥当性	<p>本調査研究は、海外現地調査及び自治体等における活用策検討にあたり、有識者や関係機関等からのご助言を踏まえ実施した。また、研究成果の自治体等への活用の観点から、九州観光推進機構の方々に協力いただき、「九州」を具体事例に、活用策の検討を重ねた。</p> <p>よって、本調査研究の成果は、有識者やインバウンドに取り組む観光関係者等の意見を幅広く反映していることから、今後地域のインバウンド戦略に取り組む自治体等において、有効な情報を提供し得るものである。</p>
③ 調査研究の仕組みの妥当性	<p>調査研究を進める過程で有識者ヒアリングを実施し、有識者から調査研究の進め方などに関するご助言をいただいた。</p>
④ 成果と活用	<p>研究成果を当研究所のホームページで広く公表することを予定している。また、本調査研究の結果が、今後インバウンドへの取組みを始めた다고考えている自治体等を中心とした地域の戦略立案において活用し得るものである。</p>
⑤ その他	<p>調査研究内容を PRI Review 53 号、57 号に掲載するとともに、当研究所が主催した平成 26 年度研究発表会においても、成果の一部について報告を行っている。</p>